夏といえば

７月になり、いよいよ夏本番となってきました。そこで今回の展示では、海・花火・アイスクリーム等、夏といえば思い出すものに関する本を集めてみました。

「読書の秋」と言いますが、夏から読書に励んでみてはいかがでしょうか？

★『海の授業』

後藤忠徳／著　幻冬舎　２０１３年

海はどのようにできたのか、海はどれだけ深いのか、地球以外の星に海はないのか、なぜ津波は起こるのかなど、海に関する様々な疑問にわかりやすく答えた「海の解説書」です。海に出かける前にぜひこの本を読んで、海について学んでみましょう。

★『熱中症からいのちを守る』

谷口英喜／著　評言社　２０２４年

夏といえば、熱中症への注意が必要です。そこで、熱中症についてまとめた一冊を紹介します。熱中症を正しく理解し、楽しい夏を過ごしましょう。

★『花火の本
　線香花火から、仕掛花火のスターマインまで』
冴木一馬／写真・文　淡交社　２００４年

線香花火等の手持ち花火から仕掛け花火や大玉まで、様々な花火が、カラー写真を中心に紹介されています。また、花火の製造方法や打ち上げ方、歴史にも触れられていて、より花火に関する理解が深まります。この夏はぜひこの本を読んで、花火を楽しんでみてはいかがでしょうか。

夏に食べたい物に関する本もあります。

★『牛乳で作るアイスクリーム』
島本薫／著　文化学園文化出版局　２０１０年

★『スイカのタネはなぜ散らばっているのか』
稲垣栄洋／著　西本眞理子／絵　草思社　２０１７年

夏を感じる小説もあります。

★『夏物語』　川上未映子／著　文藝春秋　２０１９年

★『海のふた』　よしもとばなな／著　ロッキング・オン　２００４年

★『真夏の雷管』　佐々木譲／著　角川春樹事務所　２０１７年

★『敗者たちの季節』
あさのあつこ／著　KADOKAWA　２０１４年

編集・発行：さいたま市立与野図書館　（令和７年７月）
さいたま市中央区下落合 5-11-11　TEL048-853-7816　FAX048-857-1946